



環境白書の刊行にあたって

広島県知事 藤 田 雄 山

広島県では、本年3月、本県が目指そうとする今後の将来像や、取り組むべき施策などを明らかにした広島県総合計画「元気挑戦プラン」を策定しました。

この新しい総合計画では、基本政策の一つとして、“暮らしの「安心づくり」”を掲げています。「安全・安心」に対する人々のニーズは、地球・地域環境の保全や循環型社会の構築、健康危機管理体制の確保などへの意識の高まりなどに伴い、年々、多様化・高度化しています。このため、本計画では、こうした社会の変化に応じて、新エネルギーの普及・開発を通じた地球温暖化の防止や資源循環型社会の構築、新たな環境づくりに向けた先導的な取組や、アスベスト対策など健康危機管理対策の充実を図ることとしています。

環境問題は、決して「誰かが解決してくれる」ものではありません。また、将来の問題ではなく、現実には直面している問題です。わたしたち自身が、家庭や学校、地域や職場で日々解決に取り組み、現在の社会システムを環境への負荷が少ない循環型のシステムへと変えていかなければなりません。

環境白書は、こうした本県における環境の現状や課題、環境保全にむけた県の取組など、環境に関する資料を幅広く掲載しています。

本書を通じて、県民一人ひとりが自らの行動と環境との関わりについて改めて認識していただくとともに、広範な主体による環境保全活動の輪が一層広がることを期待します。

平成18（2006）年9月